

OB
1 2 3 4 5 6 7 8
9
10

昭和十二年九月三十日第三回發行
昭和十三年四月十一日第二回
(月一、十一、廿一日發行)

號二十二第

報部

日一十月四年三十和昭

- 時局と本島の林業
(殖產局山林課)
- ラヂオの使命と
臺灣の放送
(殖產局監理課)
- 第五回全國水產
(殖產局水產課)
○地方情報
(州・廳臨時情報部)
- 海外情報
(臨時情報部)
- 附錄
事變ニユース
日誌

府督總臺灣

部報情時臨

一デ產水國全
日三十月四



會產水廳州各 會產水灣臺

臺灣水產會
臺灣水產會

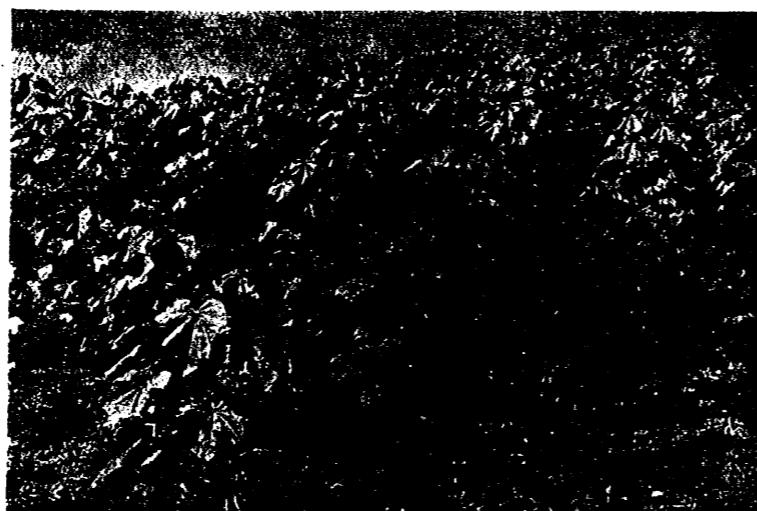
時局と本島の林業

殖産局山林課

二

支那事變は南京陥落を轉機として長期戦に入り、物資の統制、國際收支の整調等益々其の重要性を加ふるに至つた。從て國內に於ける各種産業も亦時局に順應し夫々善處する必要のあることは申す迄もない。而して此の時局下に於て本島の林業が特に對處せねばならぬことも多々あるであらうが、以下比較的重要な二三の問題に就て簡単に述べて見よう。

先づ木材の生産に就て見るに、其の生産高は島内の需要を満すことが出來ず年々百萬石内外の輸移入超過を見つゝあり、國內全體として之を見るも年々巨額の外材輸入を見つゝある状態である。而も戰時體制下に於ては軍需用として少からず使用され且一般建築用鐵材の使用が制限せられる結果自然木材が代用されることとなり、益々木材の需要増加を來たし國際收支の關係を悪化する虞がある。そこで政府は昭和十二年法律第九十二號輸出入品等に關する臨時措置に關する件を制定し木材に就ても輸入を制限する爲、其の第一條に依り許可制度を採用して居る次第で、本島に於ても昭和十二年十月府令第百三十六號を以て木材の輸入許可制を實施して居る。從て國民は自ら不急又は不要なる木材の消費を節約せねばならぬと同時に生産の方面に於ても伐木、造材、運搬設備其の他に改善を加へ木材の減損を少からしめ、又山地に放置されて顧みられない造材殘木や用材として餘り多く用ひられ



(郡山旗州雄高) 地林造度年一十和昭

てゐない下級材でも耐へ得るものは、成るべく之を用材として適當に利用の途を講じ、林産資源の利用を極力收約化せねばならない。而して本島には現在大約二億萬石の針葉樹と五億萬石の闊葉樹を保有し其の中には扁柏、紅檜等の巨大なる優秀材や樟、櫟、榧の如き特殊有用材その他熱帶特有の貴重材も少なからずあり、林産資源として相當の價値を有して居る。尙又薪炭材以外には餘り多く利用されて居らぬ所謂雜木も相當に多い。之等のものをバルブ原料其他有用工業原料として利用の途を鋭意研究することも極めて緊要のことである。殊にバルブは最近製紙、人絹、人造纖維として其の需要激増し年々巨額の輸入を見つゝあり、内閣企畫院に於ては之が國內自產自給を目標に昭和十七年度迄に一六五萬噸の生産計畫を樹立して居るが、本島に於ても用材として價値の薄い一部の針葉樹や闊葉樹のバルブ化を圖ることは林産資源の開發上又國際收支の整調上重要な

問題である。

次に森林資源の利用開発と併せて考へねばならぬことは時勢に適合したる林産資源の増殖と其の保績を圖ることである。本島に於ては國有林の一部に對し大正十四年度より森林計畫事業に着手し昭和十年度を以て其の第一次計畫

を終へ、現に着々施業實施中



にして明年度よりは更に殘餘の國有林に對し第二次森林計畫事業が開始されることになつて居り、用材類の島内自給自足、製腦原料たる樟の保續及熱帶特殊樹種チークの増殖に就て其の植林計畫が樹立せられ、一方民間に於ても廣葉杉、想思樹、油桐、ウルシ、キナ、デリス、バルサ等の増殖を見つゝあるは誠に喜ぶべきことである。此の外本島に適せる熱帶樹種としてはゴム、ナタールパーク、シタン、コクタン、鐵刀木、コカ、白欒等少くないのであるから本島が我國唯一の熱帶地なるに鑑み此等の樹種を増殖し、林産資源の培養を圖り以て海外より輸入せら

るる林產物資の防護を期することも亦時局下に於ける本島の林業が荷ふ重大なる使命でなければならぬ。尙特に留意せねばならぬことは樹は植ゑてから少くも七、八年長きは數百年を経なければ利用の出来ないものであるから豫ねてから之を培養して置かなければいざと云ふ場合に間に合はないといふ事である。そこで切れば直に植ゑるといふ事が大切である。さもなければ林産資源の保續は期し難く禍根を將來に残すこととなるのである。昔から一國の繁榮は森林からと云はれてゐるが、眞に森林の經營は單に自己的營利的ではなく、國家、社會、子孫を想ふ崇高永遠の慮に依らねばならないのである。今や世界の列強は單に軍事上の裝備完成に専念しつゝあるのみならず更に經濟的防備即ち凡ゆる資源の利用、統制、獲得に狂奔しつゝある。此の秋に當り吾人は國策に順應し一致協力以て林産資源の開發並に保續に努め時艱を克服し悠久なる國運の發展を期せねばならないと思ふのである。

ラヂオの使命と臺灣の放送

六

遞信部監理課

一 ラヂオの特殊性

ラヂオはその歴史が極めて新しいのにも拘らずその普及發達は實に驚くべきものであります。それは實にラヂオの特殊性に基くものと云へませう。誰れでも知つてゐる通りラヂオは眼に見えない電波を利用したものであつて、この電波こそは一秒間に赤道を七週半する程の速力をもつてゐるのであります。マイクロフォンの前で話すのと同時に聽取者の耳に達してゐて、都會地であらうと汽車自動車の便のない山間僻地であらうとも、或はまた絶海の孤島であらうとも同時に聞えるのであります。或人の上海通信中の左の一節の如きはラヂオの即時傳播性を最も雄辯に物語つて居るものであります。

東京のニュースも入る。「……敵飛行機が浦東何々倉庫へ落した焼夷弾は忽ち火を發し只今延焼中であります……」などと云ふニュースが愛宕山からアナウンスされる聲をきいて窓から覗くとその火事が見えたりする……。

またラヂオは同時に多數の人々が居ながらにして全く同じ事を聞く事が出来ると言ふ性質を具へてゐます。如何に大きな講堂や劇場であつても、それに收容出来る人數と云ふものは極めて限られたものであり、更に講堂や劇場に自ら赴く事は色々の都合で伸々容易な事ではありません。然るにラヂオはこれ等の困難な問題を簡単に解決してゐます。即ち何萬何十萬何百萬と云ふ人々が、ニュースや講演や演藝を居ながらにして聽く事が出来るのである。ラヂオの效用は極めて大きいものであります。然しながらこの反面に於いてラヂオを聽く者は老人あり子供あり又智識程度も非常に違ふ人々が居るので、その標準を何處にするかと云ふ極めて困難な問題があるのであります。又テレビジョンの實用化されてゐない今日に於いては、ラヂオは専ら耳に訴へるものでありますから、この方面的制限を受けてゐるわけであります。

又ラヂオには國境がありません。電波の到達するかぎり海を越え山を越えて、遠慮なく外國に入り込んでゆきます。従つて各國ともラヂオによる對外宣傳には非常な力を入れてゐます。それ故に戰時に於ては敵國のデマ放送によつて何時空界を擾亂されるかも判らないのであります。各國はために競つて大電力による強力放送の完備に努め、自國の宣傳力を強化すると共にデマ放送の侵入を防ぐべく努力してゐます。ラヂオ界は言はば大艦巨砲主義であります。この意味からしても、我が臺灣に於ても近く大電力放送局の完成を見んとして居る事は誠に心強い限りであります。

二 ラヂオの使命

七

嘗ては報道機關として新聞が獨りその役目を果してゐました。然し號外賣の鈴の音に戸外に飛び出した人々は、今はラヂオの前に集つて一語も聽き洩すまいと耳をそばだてゝゐる状態であります。政治經濟社會各般に亘る正確にして且つ迅速なニュースは現代人の生活にとつて缺く事の出來ないものであつて、ラヂオは現在に於ては缺く事の出來ない報道機關になつて居ります。

ラヂオは國體觀念を明徴にして、日本精神を涵養する事はもとより一般的教養の向上を期して居ります。一般社會人は適當な機會の得がたい事や煩多な日常生活その他によつて不本意ながらも修養とか専門外智識の吸收とかについては比較的無關心に過しやすいのでありますが、ラヂオはこの點についても極めて大きな貢献をしてゐます。ラヂオは實に國民の一般的教養機關たる使命を有するのであります。

ラヂオは又國家凡百の政策を國民に周知させ、國家政策に對する國民の認識を深からしめて、舉國一致の實を擧げる様に不斷の活躍を續けてゐます。近時各國ともラヂオのこの方面の效用については極めて深い關心を示してゐます。

適當な慰安を得る事は人間にとつて極めて必要であります、それは明日の生活に新たな活力を與へるものであります。ラヂオが國民の慰安機關として如何に大きな寄與をなしてゐるかはこゝに述べるまでもありません。この場合に於いても單に沙漠のオアシスと云つた様なもので満足する事なく、國民の健全なる精神を害する低劣卑俗な頹廢的な娛樂を驅逐し積極的に高尚な趣味を涵養し以つて人格の陶冶に資する事を期してゐる次第であります。

本島人を皇民化するについては國語の普及が極めて重要な事であります、ラヂオは國語講座その他によつて國語の普及に努力してゐる次第であります。

以上に於て述べた様にラヂオの使命は非常に重且大でありますが、支那事變勃發以來益々その重要性を増してきました。内にあつては刻々の戰況を速報すると共に、長期作戰に對應して國民精神總動員運動の重要な一翼を擔當し、時局に對する認識を深めると共に時局に對處すべき國民の覺悟を促して統後の護りを固くする事につとめ、外に向つては正義日本の眞の姿と正當なる我が主張とを堂々と闡明して、對外的摩擦を減じ國策の圓滑なる遂行のために日夜あらゆる努力を續けてゐますが、その詳細は別の項に於て述べる事にします。

三 臺灣の放送事業

以上ラヂオの特殊性とその使命の大體について述べましたが、では臺灣の放送事業はどんな具合に活躍して居るでせうか、先づその歴史から述べて見ませう。

1. 歷史 大正十五年臺北に始政三十年記念展覽會が開催されましたが、その會場に五〇ワットの小放送機を据附け、島内各地十六箇所には受信機を設備して十日間試験放送を行つたのが本島最初の放送無線電話であります。

其の後、昭和三年十月遞信部廳舍内に一キロ實驗放送が開始されましたが、聽取者九千人に達する好成績を得ましたので交通局遞信部は愈々恒久的施設を行ふこととなり、昭和五年十二月臺北「十キ

ロ 放送局を完成し翌六年一月十五日から放送開始の運びとなつたのであります。

同年二月には臺灣放送協會を設立して、事業中技術以外の業務即ち番組の編成實行、放送者の依頼、聽取者の増加勧誘を委託し、官の設備を無償にて使用せしめ、且月額一圓以内の聽取料を徵收して之を經費に充當せしめる事となりました。

續いて昭和七年四月一日臺南放送局、又十年五月十一日臺中放送局が設置せられ今日に至つたのであります。

2. 放送施設 現在

臺北放送局 (J F A K) 一〇キロ、七五〇キロサイクル
臺南放送局 (J F B K) 一キロ、七二〇キロサイクル

臺中放送局 (J F C K) 一キロ、五八〇キロサイクル

の三放送局があり後二者は臺北よりの放送中継を主として居りますが、島民待望の大電力放送及二重放送施設も近く實現の運びとなつて居ります。

3. 番組の編成 プログラムの編成方針としては大體に於て内地よりの放送中継を主とする内地延長主義に依つて居りますが、之は内地人へ教養慰安を與へんとするのみならず、本島人方面への皇民化、國語の普及等をも眼目として居るのであります。事が變發生後は國民精神總動員の見地から放送種目の嚴選に努めて居ることは言を俟ちません。それからもう一つ臺灣の放送は臺灣島内に限らず、廣く南支南洋に活躍する同胞の事も常に考慮に入れて居る次第であります。

番組編成は臺北を中心として臺北放送局に於て臺中、臺南兩局の番組をも編成します。又臺灣内地問には毎日十五分間の打合電話があつて密接な連絡が行はれて居ります。

現在行はれて居る放送番組中特異なものを拾ひ上げて見ますと、

臺灣音樂、蠻歌、家庭百科問答、圖書館ニュースと博物館講座、うたのむけいこ、J H A K子供新聞、國史講座、國語講座、北京語講座、コドモのニュース、朝の音樂と夕方の音樂、

等でありますが、この外毎月一回臺灣を紹介する意味で全國に放送を送出して居ることは皆様御承知の通りであります。

4. 聽取者數 昭和十三年二月末現在の本島ラヂオ聽取者數は四二、七五五人で、その中内地人三一、一八六人、本島人一一、五八九人となつてをります。今之を人口千人に對する割合で見ると内地人は千人中一一〇・六人で内地のそれに約倍する優秀な普及率を示して居るに反し本島人は僅か一二四人と云ふ低率であります。之は臺灣のラヂオが未だ未だ本島人方面に普及される餘地が多分にあることを示すもので、國語普及の見地からも、又時局に對する國民的意識と云ふ點から見ても、全部の本島人が充分ラヂオに親しみ得る日が一日も早く來ることが希望されるのであります。

尙昨年七月、事變勃發以來のラヂオ聽取者の激増振りは左の通り目醒ましいものがありますことは時局に對する熱誠の現れとして喜びに耐へません。

内 地 人	事 變 前	本年二月末	増 加 數	増 加 率
内 地 人	二三、七六五人	三一、一八六人	七、四二一人	三割一分二厘

本島人	六九一六人	一一、五八九人	四、六七三人	六割七分七厘
計	三〇、六八一人	四二、七五五人	一二、〇九四人	三割九分四厘

一一

四 事變下の臺灣放送

今回の事變が勃發すると共に臺灣の放送事業もラヂオが有するその獨自の機能によつて報道、宣傳の第一線に立ち、殊に我が帝國最南端に活躍する放送局としての特質を發揮すべき重大なる使命を以て、本島内外に對し、事變の正しい經過や公正なる我が帝國の立場を充分認識せしむるため、ニュースの充實外國語による海外放送、短波送出等、種々の方策を以て努力しつゝあります。

1. ニュース放送度數の増加

其の第一はニュースの増設であります。即ち事變前迄は晝食後及夜の九時半よりの二回約三十分づゝのニュース放送を行つて居たのであります。現在では午後〇時四十分から十時間と同十時二十分から三十分間に亘る定時ニュースの外午前八時、午後三時、五時半、七時二十分及十一時五十分から各五分間乃至二十分間の臨時ニュースの時間を設け正確且つ迅速なる報道に努めて島内聽取者は勿論、凡そ臺北放送局放送電波の到達範圍に在る在外邦人よりも多大の感謝を受けつゝあります。

2. 官廳ニュース

總督府臨時情報部の編輯する事變ニュースを毎朝九時十分及午後四時五分の二回各約二十分放送して公報的ニュースとして之亦多大の支持を得て居ります。

3. 特別放送

事變下に於ける本島放送中最も劃期的なものとしてこの特別放送があります。特別放送は又海外放送の性質を有し、島内本島人の外南支南洋方面に在住する支那人、歐米人や或は邦人を目標とし國語の外福建語、北京語及英語に依つてニュースを放送して事變の經過並我國の立場に關して正確且迅速な報道を供給し、殊に外國人に對してはその誤まつた認識を是正し我國の眞意を理解せしむるに努めて居るのであります。

- A 福建語ニュース 不幸にして未だ國語を解し得ない本島人及福建省民、南洋方面の福建出身華僑に對するもので現在午後三時二十分及午後十時の二回各二十分間の放送を行ひつゝあります
- B 北京語ニュース 支那人對するもので今尙蒋介石の強がりや、國民政府の出鱈目宣傳に迷つて居る彼等の眼を醒ます役目を持つもので毎夜十一時二十分から十五分間放送します。
- C 英語ニュース 每夜十一時五分から十五分間放送し、支那南洋方面の歐米人を對象として眞の東洋平和を冀ふ我が公正なる態度を認識させる重要な任務を負ふものであります。
- D 國語再放送ニュース 畫面電源の無い地方や畫面空電多く充分聽取し得ない地方の内外邦人に當日のニュース中重要なものを抜萃編輯して、午後十一時三十分から十五分間再放送して居ます。

一一三

4. 短波放送

以上の一様な特別放送の趣旨を一層徹底させ、同時に南支南洋在留邦人の臺北放送聽取に便ならしむる爲に、昨年八月より九六三〇キロサイクル及一〇五三五キロサイクルの二種の短波を以て前者は毎日午後六時より、後者は同十一時五分より中波と同時に送出して居りますが、之が爲に從前中波では聽取不能であつた地方例へば爪哇、スマトラ方面に於ても明瞭に聽き得る様になつたとて謝状を寄せて来る向きも妙くない實情であります。

以上は事變下に於ける臺灣放送の概況であります、要するに現下の時局に則應して、主力をニュース放送に傾注し、その中波、短波に依る公正迅速な報道は各方面から多大の反響を呼び島内は勿論遠く南支南洋方面の外人、支那人間にも漸次絶大の信用を博しつゝあるのみでなく、殊に英語放送に對しては遠く北米、濠洲、新西蘭、南阿、英本國、愛蘭等世界各地にも反響を生じ續々聽取報告と讚辭に接して居り、中には臺北の英語放送によつて事變の真相と、日本の正義とを識り得たと感激の言葉を呈して來るものも妙くない有様であります。

海外放送調査

臨時情報部

海外放送 東京放送局 J O A K (昭和十三年一月一日現在)

新北米東部	南米	歐洲	方向	放送時間		目的 地 時 間	使 用 国 語	放送内 容	呼出符號及周波數
				自 前	至 前				
至 前 八、〇〇〇	自 前 七、三〇〇	自 前 三、六、三〇〇	英、佛、白、和、西、班	自 前	至 前	英、佛、白、和、西、班	英、佛、白、和、西、班	英、佛、白、和、西、班	J Z J (一八〇〇キロサイクル)
市俄古	北米東部	アルゼンチン ブラジル 蘇聯邦	獨、丁、伊、諾、至後、波、瑞、三〇〇	自 後 一、九、〇〇〇	至 後 七、六、三〇〇	日、英、獨、佛、諾、波、瑞、三〇〇	日、英、獨、佛、諾、波、瑞、三〇〇	日、英、獨、佛、諾、波、瑞、三〇〇	J V D (二五、九〇キロサイクル)
至 後 五、五、三〇〇	自 後 六、六、三〇〇	自 後 六、五、三〇〇	葡、日、西、葡	自 後 一、九、〇〇〇	至 後 七、六、三〇〇	葡、日、西、葡	葡、日、西、葡	葡、日、西、葡	J Z I (二三、五〇キロサイクル)
日、英	歌終了 ニユース アハ演藝 ナウス	J Z J (二三、四六米)							
	J Z J (二五、八〇〇米)	J Z J (二三、五〇〇米)	J Z J (二三、四六米)						

全日本放送局一覧表 (臺灣總督府臨時情報部)

局名	呼出符號	周波數(KC)	電力(KW)	局名	呼出符號	周波數(KC)	電力(KW)
臺中	JFCK	580	1	東京(二)	JOAK	870	10.0
東京(一)	JOAK	590	150	盛岡	JOQG	880	0.5
宮崎	JOMG	600	0.5	鳥取	JOLG	890	10.0
金澤	JOJK	610	3	福岡	JOLK	910	0.5
岡山	JOKK	630	0.5	新潟	JOQK	920	0.5
濱松	JODG	640	0.5	長崎	JOAG	930	0.5
秋田	JOUK	650	0.3	大連(二)	JQAK	1,095	1
松江	JOTK	670	0.5	京都	JOOK	1,070	0.8
函館	JOVK	680	0.5	京城(二)	JODK	970	50.0
大阪(一)	JODK	690	10	德島	JOXK	980	0.5
熊本	JOGK	790	10	名古屋	JOCK	990	10.0
甲府	JOKG	800	0.5	前橋	JOBG	1,000	0.5
旭川	JOOG	700	0.3	釧路	JOFG	1,010	0.1
京城(一)	JODK	710	10	福井	JOFG	1,020	0.3
高臺	JORK	720	0.5	笠山	JBAK	1,030	0.25
南	JFBK	730	1	長野	JONK	1,040	0.5
名古屋(一)	JOCK	730	0.3	松本	JOSG	1,040	0.5
倉	JOSK	740	1	鹿兒島	JOHG	1,050	0.5
臺	JFAK	750	0.5	富山	JOIG	1,060	0.5
大	JQAK	760	0.5	新京(一)	MTCY	560	10.0
仙	JOHK	770	1.0	哈爾濱	MTFY	674	3.0
靜	JOPEK	780	1	山形	JOJG	1,080	0.5
阪(二)	JOBK	940	0.5	平壤(一)	JBK	1,090	0.5
廣	JOOG	950	1.0	新京(二)	MTCY	180	10.0
輶	JOIK	810	1	東安	JQBK	805	0.05
帶	JBBK	820	0.0	奉天	MTBY	890	1.0
札	JOFK	830	1.0	撫順	MTHY	915	0.05
平	JORG	840	1	牡丹江	MTGY	1,015	0.05
廣	JOCK	850	0.0				

備考

一、臺北放送(午後六時半後)
二、東京語(午後五時半)
三、八〇K(五時半)
四、五〇K(六時半)
九、六〇K(七時半)
五、五〇K(八時半)
六、五〇K(九時半)
七、五〇K(十時半)
八、五〇K(十一時半)
九、五〇K(十二時半)
十、五〇K(一時半)
十一、五〇K(二時半)
十二、五〇K(三時半)
十三、五〇K(四時半)
十四、五〇K(五時半)
十五、五〇K(六時半)
十六、五〇K(七時半)
十七、五〇K(八時半)
十八、五〇K(九時半)
十九、五〇K(十時半)
二十、五〇K(十一時半)
二十一、五〇K(十二時半)
二十二、五〇K(一時半)
二十三、五〇K(二時半)
二十四、五〇K(三時半)
二十五、五〇K(四時半)
二十六、五〇K(五時半)
二十七、五〇K(六時半)
二十八、五〇K(七時半)
二十九、五〇K(八時半)
三十、五〇K(九時半)
三十一、五〇K(十時半)
三十二、五〇K(十一時半)
三十三、五〇K(十二時半)
三十四、五〇K(一時半)
三十五、五〇K(二時半)
三十六、五〇K(三時半)
三十七、五〇K(四時半)
三十八、五〇K(五時半)
三十九、五〇K(六時半)
四十、五〇K(七時半)
四十一、五〇K(八時半)
四十二、五〇K(九時半)
四十三、五〇K(十時半)
四十四、五〇K(十一時半)
四十五、五〇K(十二時半)
四十六、五〇K(一時半)
四十七、五〇K(二時半)
四十八、五〇K(三時半)
四十九、五〇K(四時半)
五十、五〇K(五時半)
五十一、五〇K(六時半)
五十二、五〇K(七時半)
五十三、五〇K(八時半)
五十四、五〇K(九時半)
五十五、五〇K(十時半)
五十六、五〇K(十一時半)
五十七、五〇K(十二時半)
五十八、五〇K(一時半)
五十九、五〇K(二時半)
六十、五〇K(三時半)
六十一、五〇K(四時半)
六十二、五〇K(五時半)
六十三、五〇K(六時半)
六十四、五〇K(七時半)
六十五、五〇K(八時半)
六十六、五〇K(九時半)
六十七、五〇K(十時半)
六十八、五〇K(十一時半)
六十九、五〇K(十二時半)
七十、五〇K(一時半)
七十一、五〇K(二時半)
七十二、五〇K(三時半)
七十三、五〇K(四時半)
七十四、五〇K(五時半)
七十五、五〇K(六時半)
七十六、五〇K(七時半)
七十七、五〇K(八時半)
七十八、五〇K(九時半)
七十九、五〇K(十時半)
八十、五〇K(十一時半)
八十一、五〇K(十二時半)
八十二、五〇K(一時半)
八十三、五〇K(二時半)
八十四、五〇K(三時半)
八十五、五〇K(四時半)
八十六、五〇K(五時半)
八十七、五〇K(六時半)
八十八、五〇K(七時半)
八十九、五〇K(八時半)
九十、五〇K(九時半)
九十一、五〇K(十時半)
九十二、五〇K(十一時半)
九十三、五〇K(十二時半)
九十四、五〇K(一時半)
九十五、五〇K(二時半)
九十六、五〇K(三時半)
九十七、五〇K(四時半)
九十八、五〇K(五時半)
九十九、五〇K(六時半)
一百、五〇K(七時半)
一百一、五〇K(八時半)
一百二、五〇K(九時半)
一百三、五〇K(十時半)
一百四、五〇K(十一時半)
一百五、五〇K(十二時半)
一百六、五〇K(一時半)
一百七、五〇K(二時半)
一百八、五〇K(三時半)
一百九、五〇K(四時半)
一百十、五〇K(五時半)
一百十一、五〇K(六時半)
一百十二、五〇K(七時半)
一百十三、五〇K(八時半)
一百十四、五〇K(九時半)
一百十五、五〇K(十時半)
一百十六、五〇K(十一時半)
一百十七、五〇K(十二時半)
一百十八、五〇K(一時半)
一百十九、五〇K(二時半)
一百二十、五〇K(三時半)
一百二十一、五〇K(四時半)
一百二十二、五〇K(五時半)
一百二十三、五〇K(六時半)
一百二十四、五〇K(七時半)
一百二十五、五〇K(八時半)
一百二十六、五〇K(九時半)
一百二十七、五〇K(十時半)
一百二十八、五〇K(十一時半)
一百二十九、五〇K(十二時半)
一百三十、五〇K(一時半)
一百三十一、五〇K(二時半)
一百三十二、五〇K(三時半)
一百三十三、五〇K(四時半)
一百三十四、五〇K(五時半)
一百三十五、五〇K(六時半)
一百三十六、五〇K(七時半)
一百三十七、五〇K(八時半)
一百三十八、五〇K(九時半)
一百三十九、五〇K(十時半)
一百四十、五〇K(十一時半)
一百四十一、五〇K(十二時半)
一百四十二、五〇K(一時半)
一百四十三、五〇K(二時半)
一百四十四、五〇K(三時半)
一百四十五、五〇K(四時半)
一百四十六、五〇K(五時半)
一百四十七、五〇K(六時半)
一百四十八、五〇K(七時半)
一百四十九、五〇K(八時半)
一百五十、五〇K(九時半)
一百五十一、五〇K(十時半)
一百五十二、五〇K(十一時半)
一百五十三、五〇K(十二時半)
一百五十四、五〇K(一時半)
一百五十五、五〇K(二時半)
一百五十六、五〇K(三時半)
一百五十七、五〇K(四時半)
一百五十八、五〇K(五時半)
一百五十九、五〇K(六時半)
一百六十、五〇K(七時半)
一百六十一、五〇K(八時半)
一百六十二、五〇K(九時半)
一百六十三、五〇K(十時半)
一百六十四、五〇K(十一時半)
一百六十五、五〇K(十二時半)
一百六十六、五〇K(一時半)
一百六十七、五〇K(二時半)
一百六十八、五〇K(三時半)
一百六十九、五〇K(四時半)
一百七十、五〇K(五時半)
一百七十一、五〇K(六時半)
一百七十二、五〇K(七時半)
一百七十三、五〇K(八時半)
一百七十四、五〇K(九時半)
一百七十五、五〇K(十時半)
一百七十六、五〇K(十一時半)
一百七十七、五〇K(十二時半)
一百七十八、五〇K(一時半)
一百七十九、五〇K(二時半)
一百八十、五〇K(三時半)
一百八十一、五〇K(四時半)
一百八十二、五〇K(五時半)
一百八十三、五〇K(六時半)
一百八十四、五〇K(七時半)
一百八十五、五〇K(八時半)
一百八十六、五〇K(九時半)
一百八十七、五〇K(十時半)
一百八十八、五〇K(十一時半)
一百八十九、五〇K(十二時半)
一百九十、五〇K(一時半)
一百九十一、五〇K(二時半)
一百九十二、五〇K(三時半)
一百九十三、五〇K(四時半)
一百九十四、五〇K(五時半)
一百九十五、五〇K(六時半)
一百九十六、五〇K(七時半)
一百九十七、五〇K(八時半)
一百九十八、五〇K(九時半)
一百九十九、五〇K(十時半)
一百二十、五〇K(十一時半)
一百二十一、五〇K(十二時半)
一百二十二、五〇K(一時半)
一百二十三、五〇K(二時半)
一百二十四、五〇K(三時半)
一百二十五、五〇K(四時半)
一百二十六、五〇K(五時半)
一百二十七、五〇K(六時半)
一百二十八、五〇K(七時半)
一百二十九、五〇K(八時半)
一百三十、五〇K(九時半)
一百三十一、五〇K(十時半)
一百三十二、五〇K(十一時半)
一百三十三、五〇K(十二時半)
一百三十四、五〇K(一時半)
一百三十五、五〇K(二時半)
一百三十六、五〇K(三時半)
一百三十七、五〇K(四時半)
一百三十八、五〇K(五時半)
一百三十九、五〇K(六時半)
一百四十、五〇K(七時半)
一百四十一、五〇K(八時半)
一百四十二、五〇K(九時半)
一百四十三、五〇K(十時半)
一百四十四、五〇K(十一時半)
一百四十五、五〇K(十二時半)
一百四十六、五〇K(一時半)
一百四十七、五〇K(二時半)
一百四十八、五〇K(三時半)
一百四十九、五〇K(四時半)
一百五十、五〇K(五時半)
一百五十一、五〇K(六時半)
一百五十二、五〇K(七時半)
一百五十三、五〇K(八時半)
一百五十四、五〇K(九時半)
一百五十五、五〇K(十時半)
一百五十六、五〇K(十一時半)
一百五十七、五〇K(十二時半)
一百五十八、五〇K(一時半)
一百五十九、五〇K(二時半)
一百六十、五〇K(三時半)
一百六十一、五〇K(四時半)
一百六十二、五〇K(五時半)
一百六十三、五〇K(六時半)
一百六十四、五〇K(七時半)
一百六十五、五〇K(八時半)
一百六十六、五〇K(九時半)
一百六十七、五〇K(十時半)
一百六十八、五〇K(十一時半)
一百六十九、五〇K(十二時半)
一百七十、五〇K(一時半)
一百七十一、五〇K(二時半)
一百七十二、五〇K(三時半)
一百七十三、五〇K(四時半)
一百七十四、五〇K(五時半)
一百七十五、五〇K(六時半)
一百七十六、五〇K(七時半)
一百七十七、五〇K(八時半)
一百七十八、五〇K(九時半)
一百七十九、五〇K(十時半)
一百八十、五〇K(十一時半)
一百九、五〇K(十二時半)
一百二十、五〇K(一時半)
一百二十一、五〇K(二時半)
一百二十二、五〇K(三時半)
一百二十三、五〇K(四時半)
一百二十四、五〇K(五時半)
一百二十五、五〇K(六時半)
一百二十六、五〇K(七時半)
一百二十七、五〇K(八時半)
一百二十八、五〇K(九時半)
一百二十九、五〇K(十時半)
一百三十、五〇K(十一時半)
一百三十一、五〇K(十二時半)
一百三十二、五〇K(一時半)
一百三十三、五〇K(二時半)
一百三十四、五〇K(三時半)
一百三十五、五〇K(四時半)
一百三十六、五〇K(五時半)
一百三十七、五〇K(六時半)
一百三十八、五〇K(七時半)
一百三十九、五〇K(八時半)
一百四十、五〇K(九時半)
一百四十一、五〇K(十時半)
一百四十二、五〇K(十一時半)
一百四十三、五〇K(十二時半)
一百四十四、五〇K(一時半)
一百四十五、五〇K(二時半)
一百四十六、五〇K(三時半)
一百四十七、五〇K(四時半)
一百四十八、五〇K(五時半)
一百四十九、五〇K(六時半)
一百五十、五〇K(七時半)
一百五十一、五〇K(八時半)
一百五十二、五〇K(九時半)
一百五十三、五〇K(十時半)
一百五十四、五〇K(十一時半)
一百五十五、五〇K(十二時半)
一百五十六、五〇K(一時半)
一百五十七、五〇K(二時半)
一百五十八、五〇K(三時半)
一百五十九、五〇K(四時半)
一百六十、五〇K(五時半)
一百六十一、五〇K(六時半)
一百六十二、五〇K(七時半)
一百六十三、五〇K(八時半)
一百六十四、五〇K(九時半)
一百六十五、五〇K(十時半)
一百六十六、五〇K(十一時半)
一百六十七、五〇K(十二時半)
一百六十八、五〇K(一時半)
一百六十九、五〇K(二時半)
一百七十、五〇K(三時半)
一百六十一、五〇K(四時半)
一百六十二、五〇K(五時半)
一百六十三、五〇K(六時半)
一百六十四、五〇K(七時半)
一百六十五、五〇K(八時半)
一百六十六、五〇K(九時半)
一百六十七、五〇K(十時半)
一百六十八、五〇K(十一時半)
一百六十九、五〇K(十二時半)
一百七十、五〇K(一時半)
一百七十一、五〇K(二時半)
一百七十二、五〇K(三時半)
一百七十三、五〇K(四時半)
一百七十四、五〇K(五時半)
一百七十五、五〇K(六時半)
一百七十六、五〇K(七時半)
一百七十七、五〇K(八時半)
一百七十八、五〇K(九時半)
一百七十九、五〇K(十時半)
一百八十、五〇K(十一時半)
一百九、五〇K(十二時半)
一百二十、五〇K(一時半)
一百二十一、五〇K(二時半)
一百二十二、五〇K(三時半)
一百二十三、五〇K(四時半)
一百二十四、五〇K(五時半)
一百二十五、五〇K(六時半)
一百二十六、五〇K(七時半)
一百二十七、五〇K(八時半)
一百二十八、五〇K(九時半)
一百二十九、五〇K(十時半)
一百三十、五〇K(十一時半)
一百三十一、五〇K(十二時半)
一百三十二、五〇K(一時半)
一百三十三、五〇K(二時半)
一百三十四、五〇K(三時半)
一百三十五、五〇K(四時半)
一百三十六、五〇K(五時半)
一百三十七、五〇K(六時半)
一百三十八、五〇K(七時半)
一百三十九、五〇K(八時半)
一百四十、五〇K(九時半)
一百四十一、五〇K(十時半)
一百四十二、五〇K(十一時半)
一百四十三、五〇K(十二時半)
一百四十四、五〇K(一時半)
一百四十五、五〇K(二時半)
一百四十六、五〇K(三時半)
一百四十七、五〇K(四時半)
一百四十八、五〇K(五時半)
一百四十九、五〇K(六時半)
一百五十、五〇K(七時半)
一百五十一、五〇K(八時半)
一百五十二、五〇K(九時半)
一百五十三、五〇K(十時半)
一百五十四、五〇K(十一時半)
一百五十五、五〇K(十二時半)
一百五十六、五〇K(一時半)
一百五十七、五〇K(二時半)
一百五十八、五〇K(三時半)
一百五

第五回全國水產デー

一八

殖産局水產課

本邦に於きまする水產業の基礎法律である舊漁業法發布の日たる四月十三日を記念日と致しまして本年も全國一齊に水產業の宣傳及水產智識の普及に努めることとなりました本島各地に於ける當日の行事は次の通りであります。

一、臺灣水產會（臺北）

イ 神社參拜

皇軍武運長久並水產業の發展祈願の爲在北水產關係者約百名臺灣神社へ午前十時正式參拜

ロ 活動寫眞

午後七時半より臺北市新公園廣場に於て水產に關する活動寫眞（十卷）

ハ ラヂオ講演放送（中繼）東京

午後六時二十五分（三十分間）

水產講習所長杉浦保吉氏

ニ ボスター

全島へ配付

ホ マーク

當日水產關係者全員使用し水產の宣傳を爲す

二、新竹州水產會

イ 大漁竝航海平穩祈願參拜

午前十時新竹市水產關係者約五十名、新竹神社に參拜

三、臺中州水產會

ロ 州下技術員懇談會

ハ 宣傳節附竝行進

ニ 講演

ホ 活動寫眞

ヘ 新聞廣告

ト 魚廉賣

四、臺南州水產會

神社參拜

一九

地 方 情 報

○銃後の赤誠

臺中州臨時情報部

の金額に達した。

競つて應募、數日を出すしてその數質に〇萬〇千箱、〇萬〇千圓の金額に達した。

時局の重大性と共に、一粒粟民の銘後の奉公も愈々眞剣味を加へて來た。國民精神總動員下に於ける員郡でも郡民一體みなつて眞に涙ぐましい程の活躍を續けて各方面に非常な感激と感銘を與へてゐる。他に率先しての煽帶卷、慰問品の毎月募集中全く寧日なき活動をしてゐる。

ての綱帶巻、慰問品の毎月募集に全く寧日なき活動を續けて皇國民としての赤誠を捧げて來た。

煙草商糸連
義に「ボンカン」〇〇萬箇の大量慰問で、清水の缺乏に
苦しんでゐる戦線將士に喜ばれた郡民は一層銃後奉公の徹
底を期すべく、戦線に於ける煙草の品不足を知つて慰問
煙草の募集に着手するや官公衙各種團體職員を始め郡民

郡下の愛國婦人會、女子青年團が主體となつて婦人全體總動員して、「梅ぼし」慰問運動が起り、その準備が着々進められてゐる。これは既に郡下を始め他地方のも既に買收済で十日頃から採收することにならう。内地人家庭は一坪、農村學校は三坪農園を各自に經營して紫蘇の栽培に當つてゐる。「梅ぼし」は國防的副食物との見地からこれを機會に將來は空地を利用し山地を開拓して大いに梅の栽培を奨励する筈である。今回發送の「梅ぼし」は數量

二

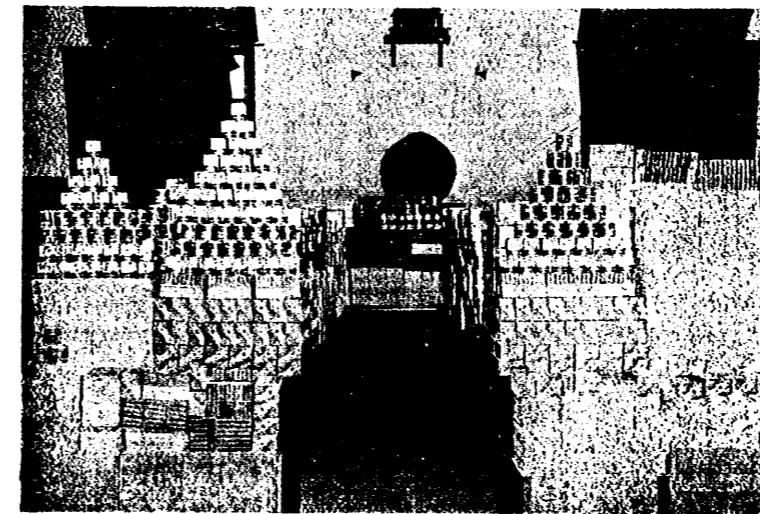
五 澎湖廳水產會
比羅神社參拜

- 八 水產功勞者表彰式
九 魚廉賣
十 買上二十錢毎に抽籤券を交付し水產物及加工品を賞品として渡す空籤なし
一一 宣傳ビラ撒布
一二 五〇〇〇枚
一三 花蓮港廳水產會

資に〇〇〇萬斤で蟲は各家庭より持寄つて漬込む豫定である。何分多量のことであり、各街区別に行ふ筈である。これ等は非常時にふさわしい統制訓練となるものと思はれる。

臺中市教育會の總會で

皇軍慰問金贈呈



(郡林員州中臺) 山の間慰草煙

臺中市教育會では、去る三月十五日午前八時より新富小學校講堂に於て、定期總會を開催したが、出席者は藤田會長を初め會員百三十餘名で、先づ近藤幹事の開會の辭あつて一同嚴肅裡に、皇居遙拜、國歌合唱を終れば、會長藤田市尹恭しく、教育に關する勅語を捧讀、次いで會長の挨拶、近藤幹事の會務報告あつて後、中川幹事より皇軍慰問に關する動議提出あり、滿場一致の賛成にて動議成立し、右終つて大森禪戒師の「日本精神」と題する講演あり、同十時閉會したが、皇軍慰問の内容は總會終了後の恒例による懇親會を省略し、その經費を節して之を皇軍慰問金として云ふにあり。滿場一致の賛

成により翌十六日實行委員は臺中憲兵分遣隊を訪問し、その旨を述べ、金五十圓を皇軍慰問として申出でたる

○支那事變に關し執りたる措置

臺南州臨時情報部

一 軍事扶助法に依らざる扶助

本州軍事扶助委員會及各郡市支會は緊密なる連絡の下に要扶助者の發見慰問等本事業の目的達成に不斷の努力を拂ひつゝあり。

二 支那事變の巡回映寫

支那事變の巡回映寫第二回を實施せり。

三 國民精神總動員徹底と青年團の指導強化

現下の時局に本島の特殊使命に鑑み州下本島人男女

進する所渺少ならざるものありたり。

四 非常時局と納稅精神の發揚

三月二十五日を納期限とする後期分第三種所得稅、資本利子稅、支那事變特別稅は其の調定總額六九六、九六三圓三三錢、人員四七、六五人を算する狀態なりしも關係當局者の銳意納稅精神の發揚に努めたるニ一般納稅者が非常時局を認識し納稅報國の赤誠を披瀝したる結果は臺

南市を除く外一市十都六十六街庄悉く完納し徵收步合金額九九・五%，人員九九・四%の好成績を擧げ非常時財政の運營上遺憾なきを期せしめたり。

五 防空委員會の開催

昭和十三年三月二十九日午前十時三十分より州廳會議室に於て臺南州防空委員會を開催付議せるが何れも原案の通り可決確定午後一時散會せり。

○銃後花蓮港

花蓮港廳臨時情報部

銃後美談

花蓮港街稻住木炭販賣業者珠塗は自己所有貨家に居住する〇〇氏が昨年一月出征するや、其の妻女が一切の救助を謝絶し鷄肉行商に依り獨立して生計を維持し二名の子女を養育して夫をして後顧の憂なからしめんとする健

氣なる態度に感激し、自發的に家賃を引下げ毎月木炭數俵を贈與する等其の家族を後援し居たること判明、痛く街民を感激せしめ居り、尙同人は過般來附近居住貧困者に國旗を買與ふる等本島人として稀に見る善行者なりて賞讃を受けてゐる。

海外情報

臨時情報部

蔣政權を離脱して

回教徒政權を樹立す

國民政府の地方政府頽落と共に其の腹背を扼する邊境の回教徒の動向は多大の注目が拂はれてゐるが最近傳へられる所に依れば全回教徒の支配的地位にある寧夏省主席馬鴻達の反蔣態度が漸く鮮明となり、馬鴻達、馬鴻賓の回教徒軍七萬三千、寧夏中央系一個師の對立激化して來た模様である。寧夏省の馬鴻達、馬鴻賓、甘肅省の馬步青、青海の馬步芳、新疆省の馬仲英等の所謂五馬を打つて丸ごとする回教徒政權樹立運動は一千萬回教徒の熱烈な宿望であり、從來機會ある毎にこれが達成を企圖されてゐたが、其情勢に驚いた蔣介石は數年前より邊境の諸都市に夫々中央軍一箇旅を分駐せしめ、これが壓迫に努め

回教徒蹶起し

ソ聯膺懲を叫んで

阿克蘇（新疆省）に向ふ

昨夏以來共産主義絕對排撃を標榜して新疆省和阗、喀什噶爾地方の漢人官吏を追放し、熱烈なる宗教擁護抗争を續けてゐたカラトバシの率いる經回軍約八千は最近馬仲英の和闊入りと共にこれが協力を得て勢力を加へるや、俄然ソ聯脅懲を叫んで蹶起し、回教聯合軍を組織する共にその一部は既に攻撃に轉じ阿克蘇に進撃を開始した。

閩人治閩の機運

同志既に千餘名

福建民衆多年の理想である閩人治閩實現に對する期待は從來蔣介石政權の實力の前に已むなく屏息底流して來たが今次抗戰の前途漸く逼迫して來たのを機會に最近省民知識階級の一部にこの理想實現に就いての注目すべき萌芽を見るに至つた。

事變以來大敗に重ねつゝあるに拘らず蔣政權には何等確呼たる目算立たず狼狽の極將來大なる禍根となりつて殆るべき點をも顧慮する所なく、或は容共策を探り

若くは恃むべからざる功利的一群に繰り徒らに無謀の抗戰を續けんとして居り、この儘推移するに於ては中華全民族は終に救はる、遂なく今や全く中華の復興は大局の明なき蔣政權に委すべからざるに至れるものとして、この際少なくとも閩地は閩人を以てその救亡を謀るべきなりし、某々等數名は先日來閩南の某要地において密かに謀議を凝らしつゝあり既に同志千餘名に及んでゐるといふ。

廣東の近況

排日貨狀況

廣東市の先施大新兩公司は日貨根絶運動中なるにも拘日本品を公然と販賣し居り而も市當局が何等制裁せず默認主義を採り來れることは對し、抗敵會が驟々出し日本貨排斥ボイコット辦法違反として市黨部に對し强硬な抗議をなしてゐる。

粵漢線爆擊

粵漢線爆擊のため貨車相當多數失はれ今後の物資輸送に非常に困難を感じる爲め全國鐵路局に對し至急貨車一

五〇輔提供方申出で居るこことある。

3. 救國公債に對する窮餘策

廣東省政府は救國公債の成績面白からざるに鑒み種々なる窮餘策を講じつゝある。

1. 廣東政府警務局に於ては今後護照發行の場合必ず一定額の救國公債を買入せしめるこことなつた。

2. 粵漢線爆擊の火薬を切つたが、我が空軍の

協力援護を得て連日壯烈なる激戦を展開しつゝあり、群がる大軍の中に押入り一日夕刻の戰闘に於て

既に敵一箇團を殲滅、團長盧明德を戰死せしむるの

殊勳を樹てたが熾烈なる攻撃に全く戰意を喪つた敵

は李英軍に對し降伏を申込んで來た。

今や敗殘支那軍は正しき平和を目指す支那軍人自身によつて潰滅せらるゝの新事態を呈し、皇軍の正しい戰は

新しい形態に於てその目的を達しつゝあると言へる。

日本兵は非常に怖い

殊に大砲と突撃が一番恐しい

高橋部隊の遞鋪鎮攻撃は終始奇襲の連續で、奇襲をお手のものとする流石の敵の遊撃隊も手も足も出す殲滅的

1. 上海大道市政府に歸順した敗殘兵の參謀長任鴻飛は

四千の部下を指揮し斷呼抗日匪賊討伐の軍を起し先

づ川沙縣の雷忠軍を槍玉に上げ、浦東半島の突端大

圍鎮、杜家行鎮に蟠踞する二千の敗殘兵土匪軍及び

寧波から入込んだ中央軍と激戦を交へて之を寧波方

面に潰走せしめた。この掃蕩の結果歸順するもの一

萬を算し、大道市政府は更にこの中より四千名を嚴

選し四箇團の肅正工作隊を編成し、地方民衆からは

家庭は一戸當り十元死幣備費として負担せしめ、命に從はざる者は全部漢奸として處斷すを威嚇せるを以てさな

きだし相續く、批政搾取に塗炭の苦に喘げる一般民衆は之を傳へ聞き空天才を恨み發狂師と嗤してゐる。

廣東省汕頭方面に於ける

壯丁の兵役忌避

汕頭方面に於て海外渡航を名目として兵役を忌避するもの續出するに鑑み當局は今回壯丁の出國を禁する辨法として出國證照の發行を停止せる由である。

英國旗の蔭に隠れる

支那側の不法射撃

我軍の京漢線、山西南部其の他の作戦に當り英國旗の蔭に隠れての支那軍の不法行為は枚舉に遑なく、去る三月二十日新鄉西方李封に英國々旗を掲揚し工場を占據してゐる支那軍の不法射撃に關して我軍は英國々旗の名譽を重んじ懲忍自重し反撃を加へなかつたが我軍は大使館を通じ英國側に強硬なる抗議を提出した。

米國言論界の大勢は

「日米親善に努力 日貨排斥は反対」

サットン・ニュースサーヴィス社は全米五百四の新聞編輯長に宛て對日關係につき七項目から成る質問書を發したがこれに對する回答を左の如く發表した。

これに依れば米國言論界の大勢は日貨排斥に壓倒的に反対である事が判る。

1. 買下は凡ゆる種類の日本品ボイコットを可させらるや

否とするもの 三八三

然りとするもの 八一

2. 成品のみの對日ボイコットに賛成されるや

否とするもの 三二三

然りとするもの 一四一

3. 日本の絹、薄荷樟腦等の如き米國品と競争的立場にない原料品のボイコットに賛成されるや

否とするもの 四〇三

然りとするもの 五五

4. 買下の都會では日本ボイコットが組織化されてゐるや

否とするもの 四五二

然りとするもの 四一

5. 米國はアジア問題に介入すべきであると思惟されるや

否とするもの 三八三

然りとするもの 七八

6. 日米親善を圖る爲め相互に努力すべきであると思惟されるや

然りとするもの 三八八

否とするもの 七一

7. 日本は米國では未だ十分諒解されてゐないで而も正當且つ必要な各種の問題を持つてゐると思考されるや

否とするもの 一二〇

然りとするもの 一五七

日本を信頼して

在外支那人間に歸國熱

支那事變に關し對日デマが亂れ飛んでゐる時在外支那人間に敢然日本を信頼し母國へ歸らう云ふ計畫がある。南米アラジルのリオ・デ・ジャネイロ、サンパウロ在住の支那人が最近北支、中支が日本軍に依り確保され安全地帯となるや今迄支那政府の暴政に依り安定した生活が得られない爲め歸國の意志があり乍ら歸へる事が出來なかつた彼等の間に財産をまごめて歸國の途につくものがある。長らく生活の安定してゐた外國を捨て、まで日本を信頼して母國へ歸らうといふ氣持になつてゐるものにはアラジル在留者のみでなく世界各地に住む支那人の間に相當強烈に起つてゐる新しい傾向である。

附 錄

事變ニユース

臨時情報部

陸軍への献金三千百餘萬圓に上る

一日平均十一萬圓

事變以來陸軍に寄せられた國民統後の赤誠は物質的にも精神的にも絶大なものがあるが、三月末陸軍省の調査によれば昨年七月七日から満八箇月餘に送られた献金の総額は遂に三千九百九十八千八百八十三圓二十七錢の巨額に達し慰問袋は百六十六萬七千四百十一箇の多數に上つてゐる。

これを一日平均にする献金は毎日十二萬六千二百四十五圓宛となる。

陸軍當局ではこの尊い國民の赤誠に感激して三月三十

一日左の當局談を發表した。

國民各位より寄せられた献金の本口までの費途の概要を申します。憲兵金として各師團に配當して第一線へ送つたり、或は傷病兵のために使つた額は約百五十萬圓、戦死者弔慰金として約三十五萬圓、遺家族の慰恤金として約百萬圓を支出し、又國防獻金からは航空機を最高額で約百萬圓を支出し、車輛裝甲自動車その他の種々の兵器、醫療機等に對し約千五百萬圓を支出して居ります。

水牛三頭に對し

馬一頭て十分

馬耕農村として前途に輝かしい光明を見出している新

竹州竹南郡頭分庄では既に馬が水牛の一部を驅逐して断然農用家畜としての光彩を發揮してゐることであつて、その顯者な實例として竹南郡頭分庄の篤農家徐阿山氏は從來水牛三頭を使役するたが、今では馬一頭で十分に農業を經營し、さらに多少の余力さへ持つてゐる状態にまで到達し一家舉つてこの馬を愛育し馬の有難さを得し、今では千圓でもこの馬は手離すことが出来ぬといふに至つてゐる。しかばば如何なる點が水牛に勝り何故にかくも馬を好むやうになつたかを調べてみると

1 馬は水牛より大變に可愛らしく人によくなづく。
2 馬は機敏なので大變に仕事が渉る。
3 馬は水牛より大變に可愛らしく人によくなづく。

支那の娘さんを

親日花嫁さんに

南京に日本式花嫁學校

錫は事變以來暴騰の一途を辿つてゐるのと軍需品として必要であるので準戰經濟下の我國に於ては不急なもの

錫は事變以來暴騰の一途を辿つてゐるのと軍需品として必要であるので準戰經濟下の我國に於ては不急なもの

ありし日の首都南京に支那の娘さん達を生徒としてする日本式花嫁學校が江南の春申の四月一日に開校された。

從來支那にある外國系學校は小學校から大學まで實に四萬數千の多きに達し、支那の抗日教育は是等假面を被つた外國系學校で行はれ、抗日の根源は外國系學校にあることさへ極言されて居るが、友邦支那建設には先づ支那の婦女子へ日本式精神教育を施し、而して生れ出づる次代の支那人子弟には三つ子の時から親日意識をはぐくまうことを云ふので、蔣介石が革命戦に廢れた遺族子弟を收容教育して居た三云ふ紫金山の遺族學校跡に此の四月から日本式花嫁學校を開設する事になった。

我が出先官憲に依つて組織する驛名決定委員會は中支占領地域内の鐵道名及驛名を改正する爲め協議を進めてゐたが三月二十八日左の如く決定、四月一日より實施することとなつた。

改正名	舊名
吳淞線	淞滬鐵路
海南線	京滬同
杭州線	滬杭甬同
江南同	江南同
蘇常北	吳淞
寧海	滬海
杭州州線	滬杭甬同
上海同	江南同
吳淞	吳淞
張家	吳淞
上海西	上海西
上海北站	上海北站
上海南站	上海南站
鎮江站	鎮江站
上海站	上海站
進縣	進縣

結婚適齢の娘等を集め、差當り日本語をみつかり叩き込み、而して日常必要な日本式禮儀作法や裁縫等を教へ、行くへは一通り茶の湯、生花、音楽、料理の一般に亘り科目を増して日本の國民性をはつきり認識した新支那の日本風花嫁さんを續々世の中に送らうとの計畫が考へられて居る。

中支占領地域内の

鐵道名、驛名を改正

四月一日より實施

事變日誌

三月二十一日

1. 杭州を出發せる加藤部隊、長興西北方白嶺鎮に於て約五千の敵を撃破引續き猛進中
2. 桑名部隊、白嶺鎮附近に於て約一千の敵を撃滅し主力は廣德に達せり。
3. 長谷川、竹下の各部隊は督節渡（廣德西方約二十五粧）水鳴鎮、郎溪、定埠附近一帶の殘敵を掃蕩せり。
4. 高橋、佐藤、中島の各部隊は安吉西北方楊明堡附近に進出、附近の敵を撃破し、各軍連絡三州山系方面の敵を掃蕩しつゝあり。
5. 支那空軍内に於ける外人飛行家ミ支那人飛行家ミの嫉視反感漸く熾烈となり國民政府航空委員會は遂に右外國人操縦士よりなる第十四爆擊飛行隊を

解散の餘儀なきに至れり。

三月二十二日

1. 廣德平地に進出せる高橋、中島の各部隊、門口鎮（廣德北方約十五粧）及び揚郎橋の敵を潰滅せり。
2. 太湖西側を掃蕩南進せる田上部隊は張渚鎮附近にありし約二千の敵を撃滅更に追撃中なり。
3. 佐藤部隊の一部は通州（江蘇省）南方の海門を占領せり。
4. 封邱附近の我軍は黃河南岸開封の敵陣地に猛砲火を浴せたるところ同市は忽ち大混亂を呈し、名狀すべからざる状態に陥れり。
5. 黃河以北に於ける集團的抗日軍は我が軍のため殆んど殲滅せられ、臨時政府は今後の恒久的治安維持について諸般の準備を進め居れり。

三月二十三日

三六

1. 北方より進撃して三州山系を掃蕩中なる田上、
鷹森の各部隊は概ね省境の線に達せり。
2. 薦湖上流三山鎮方面に於ける我が包圍を巧みに遁
れたる敵約二千五百は同地東方に於て江北脱出を
はかり居たるも我が中野部隊の奇襲に一たまりも
なく崩れ殆んど一兵も残さず殲滅せられたり。
3. 船艇を以て我々反撃を試みんと企図したる津浦線
微山湖畔の敵兵三千は我軍のため見事に不意を打
たれ粉碎、夏鎮は完全に我軍に占領せられたり。
4. 我が海の荒島安慶（安徽省）及び廬山軍官學校を爆
破せり。
5. 我が陸の隼部隊は敵の根據地歸德（商邱）を一齊空
襲敵十四機を擊墜其他多大の損害を與へて無事歸
還せり。
6. 我が陸海軍當局は布告及び當局談を以て大上海建
設を阻害する虞ある者は今後嚴重に取締る旨闡明
せり。

1. 沂州城に向ひ、我が片野部隊は沂河左岸地區より
長野部隊は沂州街道より一齊に包圍攻撃を開始せ
り。
2. 我が山西攻略の割期的大成功と徐州會戰の緊迫と
は愈々漢口政府を狼狽せしめ蔣介石は前線各軍の
間を東西走頽勢の挽回に腐心しつゝあり。

三月二十五日

三月二十六日

1. 京漢線彰德西方林縣附近に在りし李福和軍一萬二
千は我に抗し得ず遂に歸順全支那軍に多大の衝動

三月二十七日

を與ふ。

2. 廣德附近の討伐に於ける敵の損害は多大にして遺
棄死體のみにても既に三千の多きに達せり。
3. 日華經濟會成立、日本軍司令官及び中華民國臨時
政府は共同聲明を以て日支提携經濟開發の根本方
針を中外に闡明せり。

三月二十八日

なり。

1. 豐兒莊攻撃中の我が部隊は城壁の東北角を占領城
内の敵を猛攻中
2. 我が沂州包圍作戦は完全に成功約四十杆の敵背後
陣は全く我が軍の手に歸せり。
3. 我が海の荒島群八十機は漢口、武昌に未曾有の大
空襲を敢行敵五機を粉碎、更に武昌驛並に附近の
軍需品倉庫等を徹底的に爆撃せり。

三月二十九日

なり。

1. 我が高橋佐藤兩部隊の一部は朱安（浙江省下泗安北
方）附近に於て約一個大隊の敵を撃破せり。
2. 郭里集に進出せる我部隊は杜莊を占領更に攻撃中

三七

三月三十日

1. 高橋、佐藤の各部隊は白嶺鎮西南方凡そ十六杆の
高地に據れる敵約二千を撃滅せり。
2. 重慶に開かれたる六全大會は閉會劈頭蔣介石獨裁
權を附議可決せるため早くも共產黨側との抗議激
化を來せり。

臺灣總督府監督情報部推薦



横顔 岡田中尉を隊

長とする男壯な部隊
は、逃げる敵軍を追つて北支に轉戦して、占領
した村落に駐泊した。城門の稟樓にひらめく日
章旗を感じ深く眺めるのである。

本部隊から前方敵陣偵察の命が下つた。藤本軍曹を斥候長とし、中村上等兵、木口、遠藤、長野一等兵、五名が重任ある斥候兵として颶爽城外へ馳せた。高梁の平野から丘にかゝつた時前方彼方に敵の陣を認めた。敵に発見され正面から彈丸が飛来し遂に敵の大部隊に包囲されて子つたのを知つた。斥候の任務は重大である。切り抜けて本隊に急いで報告せねばならない。五人は銃剣を閃かして敵中に突入つた。岡田部隊は斥候の歸るのを待ちあぐんでゐる。四人の斥候兵は次々に歸隊し夫々重要な報告を齎したが、木口一等兵のみは姿をみせない。生きてゐて呉れ、戰友は神に念じた。武運賜し、木口は疲れきつて戻つた。敵狀は明かとなつた。進軍の命一下部隊は前へ！

- 三八
3. 山系の堅陣を占領約五千の敵を潰滅せしめたり。
 4. 海の荒蠻部隊福州飛行場を襲ひ又他の一隊は衢州（浙江省）飛行場を襲ひ多大の效果を收めたり。
 5. 陸の車両前半後の二回に亘り臺兒莊南方の敵陣地及隨海線徐塘驛の軍用列車を猛爆粉碎せり。
 6. 英國々旗を掲揚してなす支那軍の不法行為續出に鑑み我軍は大使館を通じ強硬抗議を提出せり。
 7. 寧夏省主席馬鴻逵邊境同教徒一千萬の熱望する回教徒政權樹立運動を起し反蔣態度を鮮明しつゝあり。
 8. 徐州の前衛據點として重要な位置にある沂州、臺兒莊間の敵約十萬は我軍の爲め完全に包圍され三方面より攻撃せられ、あるを以て今後の戰局の目覺しい發展を期待さる。

三月三十一日

1. 臺兒莊攻撃中の我軍は既に城の四分の三を占據、同城の完全占領は目睫に迫れり。
2. 我部隊は沂州臺兒莊間の要衝向城を急襲して之を占領せり。

イ 献金三千百九萬八千八百八十三圓二十七錢
ロ 慰問袋百六十六萬七千四百十一個

（以下次號）

アシダルホウセイ
Asidaruhosei

臺灣總督府臨時情報部

昭和十三年四月九日印刷

昭和十三年四月十一日發行（月三回發行）

印刷人　臺北市榮町二丁目十五番地
加藤豊吉

印刷所　臺北市京町一丁目四十三番地
小塚本店印刷工場

昭和十二年九月一日（月三回發行）
昭和十三年四月十一日（月三回發行）

